



令和3年1月15日

市政記者クラブ 様

中区役所地域力推進室  
担当：辻、池田  
電話：265-2228

## 名古屋市立大学の学生による協力のもと 「やさしい日本語」教材動画を作成しました！

中区は、住民の1割以上が外国人であり、市内16区の中で最も外国人住民割合が高い区です。こうした区の実情を踏まえ、区役所職員の多文化共生への理解を深めるため、名古屋市立大学の学生の協力のもと「やさしい日本語」に関する研修用動画を作成しました。

### 1 内容

名古屋市立大学人文社会学部 山本明代ゼミの学生の協力のもと、「やさしい日本語」の必要性やメリット、「やさしい日本語」への言い換えや書きかえの実例などについて、ロールプレイングを交えながら、わかりやすく紹介しています。

なお、この動画は、区職員向けの多文化共生研修の教材として活用するとともに、YouTube にて一般公開します。

### 2 「やさしい日本語」について

「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことです。1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災で日本人住民に比べ外国人住民の死亡率が約2倍、負傷率が約2.4倍と高かった背景に、言語による災害情報の提供の差があったことから、発災時に外国人が適切な行動がとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」の始まりとされています。

### 3 動画の配信

市公式 YouTube チャンネル「まるはっちゅ〜ぶ」にて本日より配信しています。

#### 【動画のイメージ】

